

新図書館整備事業基本構想策定に向けて

# 図書館ミーティングを開催しました！

令和6年7月31日（水）これから進んでいく新図書館整備事業の基本構想策定に向けて図書館についてみんなで考え・語り合う『第1回図書館ミーティング』が開催されました！

この図書館ミーティングでは、気軽な対話形式により、参加者一人ひとりが自分事として考える市民参加の機会を生み出し、新図書館整備事業への関心を高め、理解促進を図るため、全3回、毎回異なるテーマに沿って新図書館の未来をみなさんと一緒に話し合っていきます。



第1回テーマ

## 「あなたにとってよい図書館とは？」

第1回図書館ミーティングは、事始めとして『あなたにとってよい図書館とは？』を考えました。初回の参加者は50名、学生からベテラン世代まで幅広い世代の方にお集まりいただきました。

ガイダンスの後、まずはアイスブレイク（自己紹介）からスタート。その後※ワールドカフェ方式で1ラウンド15分×4ラウンドで作業を進めていきます。今回はA～Fまで6テーブルに分かれて、ラウンドごとにメンバーをシャッフルしながら議論を進めていきます。どのテーブルでも和気あいあい、皆さん思い思いの意見を模造紙に書きながら対話を進めていただきました。

※ワールドカフェとは・・・小人数のグループに分かれカフェのようなくつろいだ雰囲気メンバーを入れ替えながら自由に対話する手法

今回の図書館ミーティングの流れ

- 1 ガイダンス（市より）
- 2 アイスブレイク（自己紹介）  
自己紹介シートのお題について記入・自己紹介
- 3 ワールドカフェ  
◇第1ラウンド  
・ふせん（黄色に）自分の考えを自由記入  
・グループのメンバーで共有、意見をグループ化  
◇第2、第3ラウンド  
・メンバーを入れ替え、第1ラウンドの意見について自由に意見交換  
・新たな発想や気づいた項目をふせん（ピンク）に記入  
◇第4ラウンド  
・第1ラウンドのグループに戻って自由に意見交換  
・新たな発想や気づいた項目をふせん（ピンク）に記入
- 4 アドバイザーよりコメント



## 図書館の『人』にかかわる意見

こども

子どもの居場所としての安全性や親子で過ごしやすい場所について意見が挙がりました

- ・子どもが伸び伸び安全に過ごせる
- ・子どもと親過ごしやすい
- ・子供たちの避難場所にもなる

交流

人と人の交流や創造の場として、様々な場面やイベントについて多様なアイデアが集まりました

- 交流の場
  - ・人と人との交流の場になる
  - ・交流、新たな出会い
  - ・交流と創造の場
- 交流の場面
  - ・観光客向けの展示（入口近くに）
  - ・知的好奇心を刺激する展示、毎月アップデート
  - ・講演聞いたり、ワークできるような開かれた図書館
  - ・猫の館長 ・貸館
  - ・読んだ本を良かったと感想を共有できる
- 交流イベント
  - ・丸谷才一の本の読書会をやってもらいたい
  - ・図書館に泊まる
  - ・朗読・読み聞かせ
  - ・読書会ができる図書館！

司書・職員

レファレンス相談などを通して司書・職員とのコミュニケーション活性化について意見が挙がりました

- ・司書さんと話しやすい
- ・レファレンス相談できる司書
- ・推し司書
- ・正規の職員をおいてもらいたい
- ・職員さんも輝いて働ける環境

学び

勉強スペースやクリエイティブ拠点など学びの場づくりに向けた意見が挙がりました

- ・研究発表
- ・勉強スペース充実
- ・クリエイティブ拠点つくる
- ・学ぶチャンスがある

## 図書館の『建物』にかかわる意見

アクセス・立地

施設の立地や交通手段、駐車場の利便性についての意見の他、既存建物の活用についてもアイデアがありました

- 建物の立地
  - ・場所は駅の近くに。バスはどこからでも集まる
  - ・歩いて行けるところにあってほしい
  - ・立地を便利なところに、中心部
  - ・わかりやすい場所
  - ・チャリで行ける（学生）
  - ・駐車場、公共乗物
  - ・駐車が広い
- 既存建物活用
  - ・駅前 フーデバーの建物を図書館に
  - ・廃棄図書置き場に空き家を活用

雰囲気

建物の居心地の良さや過ごしやすさについて意見が挙がりました。また、落ち着いた静かな雰囲気や求める意見の他、自由に過ごせるお洒落さを備えた雰囲気についても意見が見られ、図書館に対する多様なニーズが顕在化しています

- 建物の雰囲気
  - ・長くゆっくりできる
  - ・居心地の良い図書館
  - ・色々な人が入りやすく過ごしやすい空間
  - ・ほどよく人の気配が感じられる
  - ・読書する人もしない人も良い時間を過ごせる場所に
  - ・木のぬくもりが感じられる
  - ・緑のあるイメージ
  - ・清潔感あふれる
  - ・市の文化の象徴としての存在
- 図書館の雰囲気
  - ・本への愛があふれている
  - ・本が好きになる図書館
  - ・本を手にとれる環境
  - ・本の可能性が広がる
- 落ち着いた雰囲気
  - ・しゃべりやすい
  - ・本を静かに読めること
  - ・十分なパーソナルスペースがとれる
  - ・鬼集中
- お洒落な雰囲気
  - ・ヒソヒソ静かじゃない方がいい
  - ・わくわくどきどきを感じられる
  - ・自由に過ごせる空間がある
  - ・図書館でかくれんぼ 静かに
  - ・グループワークもできる
  - ・館内を歩くと自分の日常では出あえない刺激が味わえる

空間・環境

採光・通風・開放感、可変性を備えた機能性やユニバーサルデザインなどの視点と共に、飲食のできるカフェ等を求める屋内空間の意見が挙がりました。また、屋外環境との関係性や環境負荷に対しても様々な意見を頂きました

- 屋内空間・環境
  - ・日がよく入る図書館
  - ・風が入る
  - ・天井が高いこと。タテの開放感
  - ・開放的な空間
- 屋外環境
  - ・外でもゆっくりできる広場があるといい
  - ・外とのかかわり
- 機能
  - ・用途で変えられる間取り
  - ・たたみスペース
  - ・机がいっぱいある
  - ・棚が大きい
  - ・クラゲの水槽がある
  - ・子どもがいても大丈夫（騒音対策バッチリ）
  - ・親子で過ごしやすい（授乳・おむつ交換・育児書・絵本が近い）
- ユニバーサルデザイン
  - ・ユニバーサル（行き来）
  - ・年齢や障害に関係なくだれでも使える
  - ・バリアフリー
  - ・車いすの出入りは考えているのか
- 飲食
  - ・食文化カフェ
  - ・飲食しながら過ごせる
  - ・カフェや緑豊かなこちよい場所
- 設備
  - ・冬の日光不足をカバーできる照明がある
  - ・トイレきれい
- 環境負荷への視点
  - ・環境負荷を最小に、EX 鶴岡倉庫
  - ・SDGsに配慮の立地、設計、プロセス、フーデバーを図書館に
  - ・環境に優しく木をつかった空間

ゾーニング

静かなスペースと話せるスペース、大人と子ども等、ニーズに応じた空間の区分を求める意見が挙がりました

- ・静かなスペースとおしゃべりスペースの区別
- ・児童用と大人用で分ける
- ・新聞・お昼寝・キッズ・有料のラグジュアリー（区別化）
- ・自習などに使えるエリア分け

運営・コスト

適正コストでの施設整備・運営を求める意見の他、開館時間の延長について意見が挙がりました

- コスト
  - ・メンテ費用がリーズナブルな事
  - ・予算内でできるシンプルな図書館
  - ・次世代に負担のないハード施設
  - ・今の図書館予算は少ないと思う
- 図書館の運営
  - ・開館時間が長め
  - ・夜まで開館9時10時
  - ・年中無休

## 図書館の『資料』にかかわる意見

選書の多様性

選書の多様性を求める意見が多く挙がりました。選書については市民参加についての意見の他、現在の蔵書に対する意見も頂きました

- 選書の多様性
  - ・選書の多様性。市民参加を取り入れて
  - ・書棚からインスピレーションがわく
  - ・雑誌100誌以上！寄付、協賛も
  - ・古今の知見や文化に敏感である
  - ・自分が必用とする本があること
  - ・借りたい本が多すぎる
  - ・読みたい本が豊富にある
  - ・本のジャンルが多い
  - ・洋書（がある）
  - ・絵本・専門図書
  - ・地域推しの本沢山
  - ・マンガがある
  - ・話題の本がある
- 現在の蔵書に対する意見
  - ・専門の本がない
  - ・本の入替、特にが関係の本は10年経てば古いものばかりです

郷土

鶴岡の文化を踏まえた資料収集やアーカイブについて意見が挙がりました。また、鶴岡の食文化発信のアイデア等も頂きました

- ・鶴岡の文化を知る、今を伝えることも
- ・それぞれの地域の特徴を生かした本の収集ができる
- ・郷土資料や地元資料、新たな地域資料がきちんとアーカイブされている
- ・郷土資料を活用できる
- ・古文書をカッコよく身近な存在に
- ・図書館が食文化発信も望ましい
- ・食文化発信のキッチン、みんな使えるのがあれば
- ・食文化・出羽三山スペース

デジタル

電子図書館やデジタルアーカイブ、自由に使えるデータベース整備の意見が挙がりました。その他、ネット環境やWi-fi環境の充実を求める意見を頂きました

- ・電子図書館
- ・データベース自由に使えて調べやすい
- ・デジタルアーカイブが見れる（高画質美術）
- ・デジタル図録がきれいに見れる
- ・オートメーション（無人化）
- ・読書メーター的に自分の読書履歴をデータ化してほしい
- ・写メで資料を活用できる⇒石川県立
- ・ネット環境の充実 観光客も使える
- ・Wi-Fi

本との出会い

新たな本との出会いを求める意見の他「自分のおすすめ本」を企画するアイデアも頂きました

- ・新しい「本に出合う場所」
- ・知らないジャンルの本が見つかる
- ・たくさんの本が所狭しと並んでいる事
- ・以前の企画「自分のおススメの本！」をしたい
- ・本だけでなく映像や音楽にもふれられる

本へのアクセス

開架書庫の広さや本の探しやすさに対する意見の他、県内の他の図書館との連携を求める声も挙がりました

- ・求めている本が探しやすい図書館
- ・知りたい情報（本・映像）が手に取れる
- ・個人蔵などの資料をリスト化してほしい
- ・開架の多い図書館
- ・資料保存 大きい書庫
- ・読みたい本がない時、県内の図書館からスムーズに借りられること

まとめ

図書館の三つの資産（アセット）である『人・建物・資料』の観点で第1回図書館ミーティングの意見を分析した結果、『建物』に係る意見が最も多く、次いで『資料』『人』に係る意見が見られました。今回の分析結果を踏まえ、基本構想に反映していきます。

次回の図書館ミーティングでは、「あなたは図書館で何をしたいですか？」をテーマに、さらに内容を深めて考えていきます。